

平成21年度いわき市農林業賞受賞者

【個人経営の部】 木田 傳右工門 さん

【功 労の部】 草野 平治 さん

平成21年度いわき市農林業賞の表彰式が2月15日に行われた。

同賞は生産技術の向上や経営の改善など地域農林業の発展に尽力された個人・団体等に贈られるもので、2名の方が受賞されました。

受賞者を代表して木田さんが「新しい時代に柔軟に対応できる農業経営を確立し、地域の農林業の振興・発展に努めていきたい」と謝辞を述べました。



大玉率の高い「ふくはる香」を導入し
経営の安定化を図った

平 木田 傳右工門さん(66)



受賞理由

木田さんは、いちご「とちおとめ」の栽培に電照を導入し、収量の向上を図るとともに、病害虫防除対策として蒸散器を導入し、品質向上に努めたことが評価された。

また、JAいわき市いちご部会長として、本市のブランド化推進作目である「いちご」の栽培に意欲的に取り組み、産地形成に尽力した。

さらには、省力化対策として、自動換気システム等の導入、高設ベンチによる親株管理等の展示圃を設け、部会への普及に貢献した。

部会長として、いちごの消費拡大のため市内の保育所や幼稚園を訪問し、「いちご祭」を開催するなど、本市のいちごの普及・消費拡大に尽力したほか、廃ビニール等の回収を徹底するなど、環境に配慮した取り組みは地域の環境保全に大きく貢献している。

集落ごとにあつた森林整備の組合を
一つにまとめ下三坂団地造林組合を設立

三和町 草野 平治さん(72)



受賞理由

昭和55年12月の記録的な豪雪時、地域の山林所有者と話し合い、山林の復興及び維持管理を目的として、下三坂地区内の集落ごとにあつた森林整備の組合を一つにまとめ、49名の組合員による下三坂団地造林組合の設立に尽力した。

さらに、平成6年4月に、下三坂団地造林組合は再組織化を図り、草野さんは同組合の組合長に就任した。

組合長として、長期にわたり、良質な木材を生産し林業経営の安定を図るため、地区内の山林に植林・撫育するなど、地区内の林業生産の振興に尽力したことが認められた。

また、森林の有する「水源涵養機能」、「土砂災害防止機能」、「地球環境保全」などの公益的機能を発揮できるよう、適切な森林整備を行うなど、組合長としてリーダーシップを十分に発揮しており、その積極的な姿勢は高く評価できる。

平成20年4月からは、いわき畜産農業協同組合の組合長として、畜産の振興にも力を注いでおり、地域からの信頼は多大である。